

1. 題材名 きってはって海の中であそぼう

2. 題材について

海にはたくさんの生き物がいる。児童がまだ出会ったことのない多くの生き物がいる。その中に身を投じて、遊ぶことができれば、どんなに楽しいことだろう。

本題材は、小学校学習指導要領図画工作 第1学年及び第2学年の目標(2)「造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせるようにする。」に基づき、内容「A表現」(2)「感じたことや想像したことを絵や立体、工作に表す活動を通して、次の事項を指導する。」及び〔共通事項〕(1)を受けて設定している。

この題材を通して、体全体を使って表現する力とラージュによる構成力を身に付けさせたい。本題材では、今回は新しい技法「マーブリング」「ローラー遊び」を取り入れる。これらは、新しく学ぶ技法ということで児童は興味・関心をもって生き生きと取り組むことができると考えられる。これら3つの技法を用いてさまざまな生き物を製作し、「マーブリング」「ローラー遊び」を組み合わせ、子どもたちが国語の学習や水族館の調べ学習で興味を持っている海の世界をつくっていく。新しい技法について知るとともに、友達と交流しながら共同で製作することによって、友達の作品の良さを感じたり、お話を考えながら作ったりと、楽しみながらとりくませたい。

まず、海の世界をローラー遊びで表現させる。様々な色のアクリル絵の具を用意し、縦2m、横4mの大きな紙を1枚ずつ与え、活動させる。次に、マーブリングを楽しませる。複数枚のマーブリング用紙をつくらせておき、海の生き物を手やはさみでつくらせる。その際、どのようにつくったらよいかわからない児童には、生き物の写真や図鑑、絵本などを用意しておき、つくる手がかりとする。子ども自らが想像した生き物も認めていきたい。そして、それらをコラージュしていく活動となる。作品が完成した後、それらを貼り合わせて、一つの大きな作品としていく。

素材は、大きなロール紙を台紙として使う。大きなサイズのものを使うことで児童はのびのびと製作活動に取り組めると考える。海の深いところ、浅いところなど変化をつけた作品に仕上げたい。また、製作途中で使用したマーブリング用紙などの余りはとっておき、自由に使えるようにしておきたい。

本学級の児童は、図工の学習も好きな児童が多い。新しく学ぶ技法については、興味をもって取り組む児童が多く、意欲的に活動することができる傾向にある。「きらきらしゃぼんから生まれたよ」では、しゃぼんと絵の具を混ぜることのできる、きらきらした感じや色の重なり具合を楽しんでいた。その一方で、想像したものをかくことに抵抗のある児童や、はさみなどの用具を思うように扱えない児童も見られる。

そこで、次のような手立てを講じる。活動の前に示範をする。特に、体験したことがない「マーブ

リング」「ローラー遊び」については、手順をしっかりと押さえる。また、繰り返し活動できるよう紙をたくさん用意し、広い場所で活動するようにする。想像したことを表現できない児童に対しては、海の生き物の写真や映像、絵本などを用意しておき、いつでも自由に見ることができるようにしておく。

本時は、これまで製作してきた海の世界がさらに楽しいものになるようにしたい。そのために、まず、自分の写真を作品の中に入れて楽しい海の世界を完成させたい。

素材	用具
ロール紙、マーブリング採液、画用紙、アクリルガッシュ、写真	ローラー、はさみ、のり、キャップなど児童が用意したもの

3. 児童の実態（男子14名 女子12名）

①「マーブリング」をしてことがありますか。（ある0名 ない27名）

②「スタンプング」をしたことがありますか。（ある13名 ない14名）

ある人は何を使用しましたか。

- ・ペットボトルのキャップ（5人）
- ・鉛筆のキャップ（3人）
- ・葉っぱ（1人）
- ・クッキーの型（4人）

③「ローラー遊び」をしたことがありますか。（ある0名 ない27名）

④海には、どんな生き物が住んでいますか。知っているものを絵でかきましょう。

魚、いるか、くじら、たこ、いか、さめ、うに、ふぐ、マンボウ、かめ、くらげ、ヒトデ、かに、シャチ、すなめり

⑤友達と一つの大きな絵を描いたことがありますか。（ある4名 ない23名）

- ・幼稚園のときに、二人組で一枚の絵をかいたことがある。

【考察】

実態調査では、「マーブリング」「ローラー遊び」については全員の児童が体験したことがないと回答していた。また、海の生き物の名称は知っているが、それをかくことができない児童が多くいることが分かった。また、スタンプングは、約半分の児童が体験していた。本題材では、それぞれの技法を作品の中でどのように生かせるかを考えながら制作していきたい。また、これ以外にも児童から「この技法も取り入れたい」といった意見が出た場合については、学級で話し合いながら取り入れていきたい。

4. 題材の目標

○様々な技法を用いて海の中を表現することに興味をもち、楽しみながら進んで造形活動をする。

(関心・意欲・態度)

○色や形を生かして作品をつくり、発想を広げて海の中を表現することができる。(発想や構想の能力)

○様々な技法を生かし、工夫して海の中の様子を表すことができる。(創造的な技能)

○友達の作品の面白さや工夫している所を見付けることができる。(鑑賞の能力)

5. 評価規準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
様々な技法を用いて海の中の世界を表現することに興味をもち、造形活動を楽しむ。	色や形の特性から、様々な海の生き物を思い浮かべてつくることができる。	切り抜きたい形を正確にはさみで切ったり、作品にクレヨンなどでかき加えたりすることができる。	作品を見て、そのよさに気付いたり、楽しんだりすることができる。

6. 指導計画 (9時間扱い)

時	子どもの活動	支援と評価 (支援○ 評価●)
1 ・ 2	○海の映像や海で遊んだ経験から、海の中の様子を想像し、話し合う。 ○ローラー遊びの技法を用いて、ロール紙に海の中の景色を表現する。	●海の生き物や様子について生き生きと発表している。(関心・意欲・態度)
3 ～ 7	○ドロッピングなどの技法を加えてさらに楽しくする。 ○マーブリング用紙をつくる。 ○どのように海の世界をつくっていくか話し合う。 ○マーブリング用紙を好きな生き物の形に切り抜く。 ○ロール紙に切り抜いたマーブリング用紙を置く。	○体験した技法をどのように使ったらよいか、何に見えるか声をかける。 ○実際の海の砂や貝殻、生き物の写真、図鑑などを掲示し、自由に見たり、触ったりしてもよいことを伝える。 ●正確にはさみを使って、紙を切ることができる。(創造的な技能) ○基本的な用具の使い方を指導する。 ●できあがった紙の色や形から、発想を広げて海の世界をつくっている。(発想や構想の能力)
8 (本時) ・ 9	○海の中にいる自分を想像して写真を撮り、貼る。 ○自分の写真を海の中に入れ、完成した作品を見て、よいところについて話し合う。	○海の中で、自分はどんなことをしているか想像するよう声をかける。 ●思いに沿った写真の貼り方やかき加えをし、もっと楽しい海の世界をつくろうとしている。(関心・意欲・態度) ●友達の作品のよいところをたくさん見つけられる。(鑑賞の能力)

7. 本時の学習

(1) 目標

○思いに沿った写真の貼り方やかき加えをし、もっと楽しい海の世界をつくらうとしている。

(関心・意欲・態度)

○友達の作品のよいところをたくさん見つけられる。(鑑賞の能力)

(2) 展開 (8/9)

学習活動	教師の指導・支援 (○) 評価の観点 (●)	資料
<p>1 作品を鑑賞し、本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>じぶんを入れてもっと楽しい海のせかいをつくらう。</p> </div>	<p>○本時のめあてを確認する。</p>	<p>前回までの作品</p>
<p>2 どのように自分の写真を貼るか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の底を歩いてみたいな。 ・魚と一緒に泳いでみたいな。 ・大きなサメにびっくりしているところになりたいな。 ・向きは、どっちがいいかな。 ・一緒に泳ごうよ。 	<p>○前回までの作品を掲示し、イメージしやすいようにする。</p> <p>○のりを付ける際の注意点を伝える。</p> <p>○生き物の上に重なってもよいことを伝える。</p> <p>○どう貼ったら、みんなの海がより楽しくなるか考えて貼るように声をかける。</p>	
<p>3 貼る場所や角度を考えながら、写真を貼っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何か面白いものを見つけたよ。 ・サメから逃げているところだよ。 ・泳いでいるように見せたいな。 ・大きな魚に乗ってみよう。 ・○○ちゃんと一緒に海の中を歩いているところだよ。 	<p>○作品を床に置いておく。紙を貼る前に試しに置くよう声をかける。</p> <p>○どこにどんな風に置いたら、もっと楽しそうになるか声をかける。</p> <p>○かき加えをしたい児童には、かき加えてもよいことを伝える。</p> <p>●楽しみながら、思いに沿って写真を貼っている。(関心・意欲・態度)</p>	<p>自分の写真(体に沿って切り抜いたもの)</p>
<p>4 お互いに作品を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○君がつくった魚の顔が面白いな。 ・このヒトデたちは仲良しなんだね。 ・魚と一緒に海に潜っていくね。 ・色の組み合わせがきれいだな。 	<p>○鑑賞しやすいように、作品を吊り下げる。</p> <p>●友達の作品のよいところをたくさん見つけている。(鑑賞の能力)</p>	